2025 年度　日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会
鈴木訓夫基金研究助成　研究成果報告書・会計報告書要項

日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会

プロジェクト委員会

１．研究成果報告書（様式２）

抄録は【目的】【方法】【結果】【考察】【結語】の順に記載すること。字数制限は 1000 字以内とする。

また、研究成果を発表した学会と学術雑誌について記載すること。学会については学会名と開催年月と開催地を、学術雑誌については著者名と題名、雑誌名、発刊年、巻、頁を記載すること。以下に例を示す。

（学会）第 40 回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会（2023 年 2 月,東京）

（学術雑誌）江川安紀子、羽入千悦子、穴澤貞夫、他：ストーマケア評価ツールとしてのストーマ管理度の提案. 日ストーマ・排泄会誌 2013;　29(3): 53-59.

提出期限は 2026 年 8 月末日とする。

ただし研究期間が複数年にわたる場合には研究最終年度の 8 月末日とする。

２．会計報告書（様式３）

様式に従い、例）を参考に記載すること。また購入や支払いを証明する領収書についてはそのコピーを提出すること。

提出期限は 2026 年 8 月末日とする。

ただし研究期間が複数年にわたる場合には研究最終年度の 8 月末日とする。

３．年次報告書（様式４）

研究期間が複数年にわたる場合に提出する。

様式に従い記載すること。提出期限は 8 月末日とする。